

平成26年度関西電力グループ経営計画

当社グループを取り巻く経営環境は、原子力プラントの再稼働時期が依然として見通せず、電力の需給、事業の収支ともに、極めて厳しい状況が続いておりますことに加え、先行きにつきましても、電力の小売全面自由化をはじめ、かつてない競争本格化が目前に迫っております。

こうした経営環境を踏まえ、平成26年度関西電力グループ経営計画においては、「変わらぬ使命のためのベースアクション」と「変わり続けるための変革アクション」の2つの観点で、以下の6つを柱としたアクションプランを展開してまいります。

変わらぬ使命のためのベースアクション

1. グループワイドでのゆるぎない安全文化の構築
2. 電力需給の安定化に向けた総力結集
3. CSRを基軸にした経営の実践

変わり続けるための変革アクション

1. 競争力ある企業グループへの変革
2. 徹底した経営効率化とコスト構造改革
3. お客様・社会のご期待に応えるための取組みの推進

当社グループは、創業以来、「お客さまと社会のお役に立つ」ことを最大の使命としてまいりました。

今後、経営環境が大きく変化する中でも、「変わらぬ

使命のために、変わり続ける関西電力グループ」として貢献し続けていくため、一日も早く事業を軌道に戻し、新たな成長に向けた取組みを進めてまいります。

アクションプランの概要

● 変わらぬ使命のためのベースアクション

1. グループワイドでのゆるぎない安全文化の構築

安全は、当社グループの全ての事業活動の根幹、社会からの信頼を賜わる源であり、引き続き、安全最優先の事業活動を継続してまいります。また、東京電力福島第一原子力

発電所の事故を踏まえた原子力発電の自主的・継続的な安全への取組みを引き続き推進してまいります。

- 安全に対する理念や行動規範の着実な浸透
- 原子力安全の一層の推進

2. 電力需給の安定化に向けた総力結集

電力需給の安定化のために総力を結集し、安全性が確認された原子力プラントの早期再稼働を目指すとともに、自社電源

の最大限の活用、他社融通等による供給予備力の確保、節電のお願い、省エネルギーの推進等に取り組んでまいります。

- 安全性が確認された原子力プラントの早期再稼働
- 他社融通等による供給予備力の確保
- 自社電源の最大限の活用
- 需給状況に応じた節電のご協力をお願い

3. CSRを基軸にした経営の実践

グループ従業員一人ひとりが、常にお客さまや関係するみなさまの立場に立って考え、使命感を持って自らの業務を確実に遂行してまいります。また、送電工事における独占

禁止法違反事案に関し、二度とこのようなことを起こさないよう、再発防止策の徹底などグループ一体となって、コンプライアンスの再徹底に努めてまいります。

- CSR活動の一層の強化
- コンプライアンスの再徹底

● 変わり続けるための変革アクション

1. 競争力ある企業グループへの変革

エネルギー市場における競争が本格化する中においても、お客さまに当社グループをお選びいただき、新たな成長を目指すために、関西エリア以外へのアプローチを含め、「総合

エネルギー事業」を中核とした競争力ある企業グループへ変革してまいります。

- 総合エネルギー事業の展開
- 新たな成長を支える事業基盤の充実・強化
- 情報通信事業、生活アメニティ事業、国際事業等における収益拡大

経営方針

2. 徹底した経営効率化とコスト構造改革

電気料金改定申請時にお客さまにお約束いたしました効率化額に加え、認可時の査定額を上回る経営効率化の実現を目指すとともに、将来の競争本格化を見据え、従来の

常識にとらわれず、業務のあり方の抜本の見直しに果敢に挑戦してまいります。

- 徹底した経営効率化の推進

- コスト構造改革

3. お客さま・社会のご期待に応えるための取組みの推進

東日本大震災以降、お客さまや社会のみなさまのエネルギーに対するニーズはより多様化しており、「共に考え、共に

未来を創る」という思いでコミュニケーションを一層充実させ、ご期待に応えてまいります。

- お客さまサービス業務のさらなる高度化とコミュニケーションの一層の充実

- お客さま・社会のエネルギー利用高度化への貢献

株主還元方針

当社は、株主のみなさまに対して経営の成果を適切に配分するため、安定的な配当の維持を株主還元の基本方針としております。

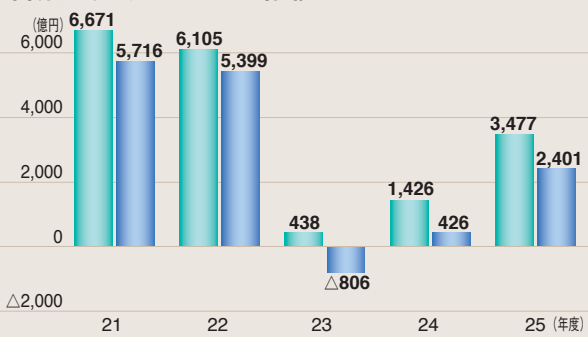
しかしながら、原子力プラントの早期再稼動に全力を尽くすとともに、徹底した経営効率化の推進、電気料金の改定を実施しましたが、平成25年度も大幅な赤字決算となり、極めて厳しい収支状況が続いております。また、先行きについても、経営環境は依然として不透明と

言わざるを得ません。こうした状況の中、財務体質の健全性の確保に取り組むことが優先課題と考え、誠に申し訳ございませんが、平成25年度は無配とさせていただきます。

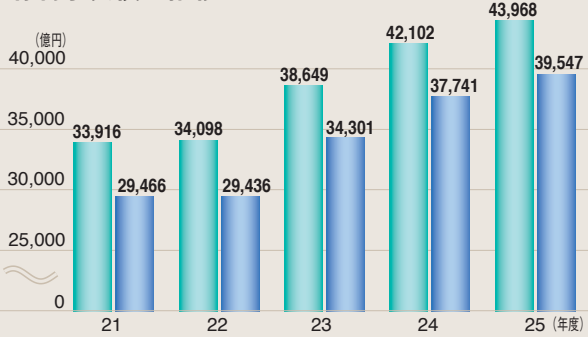
今後とも、原子力プラントの再稼動、需給の安定化および徹底した経営効率化に全力で取り組み、収支の回復に努めてまいります。

主な財務指標

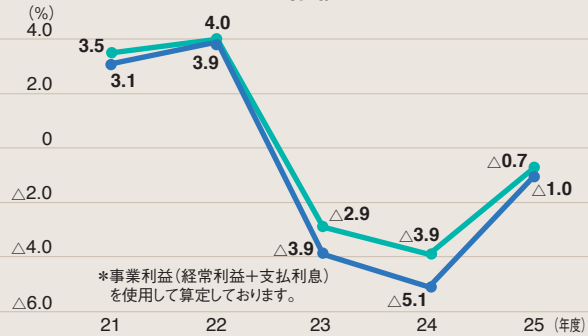
営業キャッシュフローの推移



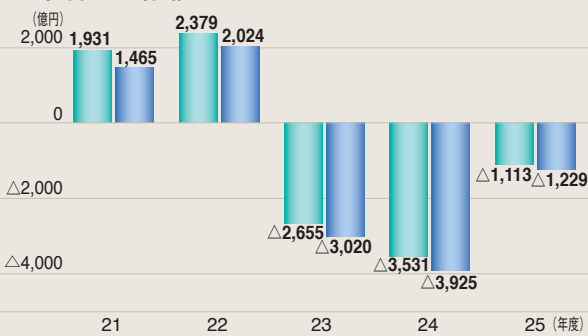
有利子負債の推移



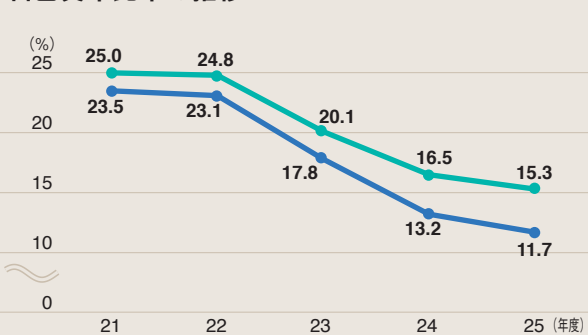
ROA (総資産事業利益率)の推移



経常利益の推移



自己資本比率の推移



設備投資の推移

